



子ども一人ひとりに 寄り添った保育を 大切にしたい

大阪市立愛珠幼稚園
小川 早紀子 教諭 採用6年目

幼稚園 教諭



■ 教職をめざした「きっかけ」は……

子どものときから幼稚園の先生に憧れる瞬間がありました。幼稚園の先生の仕事を真似してみたり、友だちのお手伝いをしたりすることが好きな子どもでした。中学校のときに職場体験で幼稚園に行き、先生の仕事をみて、いつかこんな仕事をしてみたいと思いました。自分が通っていた子どもの頃は知らなかったこと、先生の仕事は、こんなところまで全部仕事なんだなということを知り、驚きました。

大阪市立幼稚園で教育実習を行ったときに会った先生が、子ども一人ひとりに寄り添った保育をされている姿をみて、私もそんな保育ができるようになりたいと思い、大阪市の先生をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

自分が準備したことで、子どもたちが喜んでいて姿を見たときに、自分の自信に繋がることがあります。子どもの思いと私の思いがバチッとあてはまったときに、子どもたちのいい顔を見ると、やっぱりこの仕事って、他の仕事にはない、この仕事だからこそ魅力があるな、と感じています。

自分の考えだけで保育内容や支援の方法を考えるのではなく、子どもたちが「何をしたいのか」「どんなことに興味をもっているのか」ということを、まず知るようにしています。子どもたちが、自分からやってみようと思うことができるように、子どもたちの話をしっかりと聞いたり、子どもたちの姿をよく見たりすることを心がけています。

■ 教員になるまでに……

保育園や幼稚園のボランティアに参加し、たくさん子どもや先生と出会うことができるようにすることで、将来、幼稚園の先生として働いたときのイメージができるようになりました。また、子どもに関わるだけでなく、さまざまなアルバイトも経験することで、さまざまな価値観にふれることができました。

4月から教員として働く、家庭訪問や懇談会等もあります。どのように子育てをされているのか、子どもたちにどのように関わりたいと思ってられるのか等、ご家庭ごとに異なる考えにふれる際の準備に繋がったな、と感じています。

■ ときに悩むことも……

採用1年目のときは、「何をすればよいかわからない」「何がわからないのかもわからない」ということに悩むこともあり、ときに涙してしまうこともありました。その時、先輩の先生に、「悩むことも大切だけれども、終わったことやうまくいかなかったことばかりを考えるのではなく、次にどうすればよいかということを考えるようにしましょう!」と前向きな言葉をかけていただきました。

なかなか、すぐに実践することは難しかったのですが、常に心がけることで、「次はどうすればいいかな」と気持ちを切り替えて考えることができるようになりました。また、自分の趣味に取り組んだり、友だちとごはんに行ったりすることで、気持ちの切り替えをスムーズにできるようにもしています。全力でそのことを楽しむ時間をつくるのが、気持ちを切り替えるコツになっています。

■ 大阪市内で働く「魅力」は……

子どもたちが「自分からやりたい」と思う、子どもたちが自分で考え、工夫することができるような保育が大切だと思っています。一緒に働いている先生方と、同じような思いで子どもたちに接して保育をすることができているので、やっぱり大阪市内で働くことができてよかったな、と思っています。



これから教員をめざす方へ……

教員という仕事は、たくさんの人と関わる仕事です。もちろん、うまくいかないこと、ときに、もどかしくなることもあります。でも、そんなときこそ、より楽しくなるポイントを考えたり、うまくいくように改善点を見つけたりすることは、悩むことよりも何倍も楽しく、この仕事だからこそ味わうことのできる魅力だと感じています。

何より、毎日、子どもたちと全力で向き合い、子どもたちの笑顔を見て、ときに、子どもたちと一緒に悩んでということが、すごくおもしろいと感じることができる仕事です。ぜひ、そんな仲間が増えると嬉しいなと思っています。



1日のスケジュール

8:30	9:00	14:30	15:00	15:30	16:15	17:00
出勤	保育準備	保育開始	保育	保育終了	清掃	打合せ
子どもたちが安全に遊べるよう 園庭や保育室の環境整備			職員会議や打合せ、行事の準備など 職員全員での作業があることもあります		事務作業 担当している 業務の資料づくり、 園だよりや 行事の計画案 などの作成、 教材の注文 など	次の日の 保育準備 退勤

